

■前田正名 経済官僚、産業運動指導者。産業近代化の指針を次々建言するも罷免、以後、民間で奮闘するも不遇に。

まえだまさな

国定忠治疎・1850＝ 鹿児島城下で薩摩藩士(漢方医?)前田善安の六男に生まれる。

ペリー来航・1853＝ 3歳：

五ヶ国条約・1858＝ 8歳：緒方洪庵門下の八木昌平(玄悦)に師事して、洋学修業。

安政の大獄・1859＝ 9歳：

桜田門外変・1860＝10歳：

8月18日政変 1863＝13歳：馬関海峡の長崎丸砲撃事件で兄善助が溺死。

禁門の変・1864＝14歳：八木昌平の私塾が(開成所)に発展。

薩摩藩士密航1865＝15歳：長崎へ藩費留学。恩師八木昌平が死去。何礼之の(語学塾)に学び、陸奥宗光らと交友。

薩長同盟・1866＝16歳：長崎に来た外国掛五代友厚に用いられ、長州への密使の使命果たす。

大政奉還・1867＝17歳：フルベッキらの支援で、兄献吉・高橋新吉と「英和辞書」編纂に励み、

明治維新・1868＝18歳：印刷のため、上海へ向かい、一旦帰国後、辞書改訂のため上海に再航、

戊辰戦争終・1869＝19歳：神戸に帰着し「和訳英辞書」(「薩摩辞書」)を出版。大久保利通ら配慮で大学校より留学を命じられ、渡仏。

初の日刊新聞1870＝20歳：友人留学生が自殺し、自らも孤独絶望。〈普仏戦争〉下で、パリ籠城を体験。父が死去。

次年に絶望感から解放され、

明治6年政変 1873＝23歳：パリで大久保利通を囲み鹿児島県人会を開く。

佐賀の乱・1874＝24歳：文部省が留学生を整理するも、そのまま留まり、

初の民間工場1875＝25歳：外務省二等書記生として、仏国公使館在勤を命ぜらる。フランス農商務省に出入りし、経済問題を学ぶ。

三つの反乱・1876＝26歳：パリ万博事務所雇員となり、井上馨に参加を建言、推進のための内務省勸業寮御用掛(准判任官)となり、

西南戦争・1877＝27歳：ようやく帰国、日本の変化に驚く。大久保利通にパリ万博参加を説き、三田育種場長として開場式を挙行後、同博事務官として再渡仏。

大久保暗殺・1878＝28歳：パリ万博会場で自作の「日本美談」(「擬忠臣蔵」)上演し好評。終了後もフランス滞留となる。

琉球処分・1879＝29歳：イタリー皇帝より勲章。大蔵省御用掛となり帰国、「直接貿易意見一斑」を提出、

・1880＝30歳：*以後、国内物産調査に従事。建議した横浜正金銀行創設。「直接貿易基礎確定ニ関スル三大要綱」を提出。

明治14年政変1881＝31歳：頼まれて大久保の屋敷に逗留していた際、遺児の面倒を見ていた利通の姪イチと知り合って、この年、大隈重信を親代わり、松方正義を媒酌人として、結婚。フランス政府より勲章。「直接貿易意見一斑」刊行後、農商務大書記官となり、渡欧

新体詩抄・1882＝32歳：欧州産業経済事情調査、11都府市港を視察して、資料を収集するも、

岩倉具視没・1883＝33歳：病気となって帰国。静養後、体系的経済計画として「興業意見」編纂を構想。

秩父事件・1884＝34歳：*未定稿を完成するも松方正義大蔵卿の反対で大幅に改変し、「第一回興業意見」を太政官裁可を経て配布。

内閣発足・1885＝35歳：各地に出張し不況下の自力更生を説き、課員を督励して本来の構想の実現をめざすも、非職となる。

帝国大学始・1886＝36歳：長男誕生。農商務省より播州葡萄園・神戸阿利機園を委託され、

国民之友始・1887＝37歳：次男誕生。欧化主義を批判し「人心作興ノ意見書」提出の一方、高橋是清に非職中の悲痛な心境をもらす。

初の対等条約1888＝38歳：三男誕生。品川弥三郎かつぎ出し失敗。両園の払下げを受ける。山梨県知事となり「養笠知事」として話題。パリ万国大博覧会事務官、第3回内国勸業博覧会事務委員・審査官などをつとめる間、大阪市で開催された全国茶業有志大会に出席するなどした後、

帝国憲法公布1889＝39歳：ペルー銀山開発に高橋是清を送る。農商務省工務局長に復帰し、

帝国議会始・1890＝40歳：次官に昇任して「農商工調査」「府県農事調査」に着手するが、農相陸奥宗光と衝突し、同省を去った。

足尾鉾毒始・1891＝39歳：母が死去。銀山失敗で帰国していた高橋是清らとの福島県安積開墾事業も失敗。製茶会社も解散される。

大本教・1892＝42歳：長女が急死。「所見」刊行。高橋是清を金融界で再起させる。茶業団体組織化のため西日本各地を遊説。

郡司千島探検1893＝43歳：*以後、各地を巡歴し、地方産業振興・系統農会設立運動を推進しながら、日本貿易協会会頭に就任。産業社から「産業」第1号を発刊、同業団体の結成を強く勧告。第2号で国・県・郡・町村は確立の必要を強調、

日清戦争始・1894＝44歳：

日清戦争終・1895＝45歳：*六法案・四建議を政府に提出するなどして、「布衣の農相」と評判されるようになり、「町村是」普及に努めて、全国の産業組織化は驚異的に進んだが、自らも各地で開田事業を行ったため、多くの負債をかかえ、

八幡製鉄始・1897＝47歳：「産業」第38号をもって廃刊となり、ハワイ事件・移民制限・関税引上げ問題など打開のため、急遽カナダ・アメリカへ出発、米政府要人、財界人と関税・移民問題などについて会談後、ヨーロッパへ渡り、各地を歴訪して帰国するも、貴族院議員を免ぜられ、

子規句歌革新1898＝48歳：*産業指導者の地位から引退。

Bushidou・1899＝49歳：五男誕生。

なお、各地で開田事業等に取り組むものの、

教科書疑獄・1902＝52歳：全国農事会との関係も完全に断たれ、産業振興活動停止に至る。

日露戦争始・1904＝54歳：貴族院勅撰議員に再任。

日露戦争終・1905＝55歳：

満鉄発足・1906＝56歳：旭日小綬章。

韓国併合・1910＝60歳：地方産業振興運動再開の決意を周囲に示し、欧州視察に出、

大逆事件判決1911＝61歳：帰国。貴族院に「産業奨励に関する建議」を提出し可決。「彼我対照欧州視察」刊行後、再び渡欧、

明治天皇没・1912＝62歳：帰国。「海外貿易振興に関する建議」「統一機関設置の意見」提出。

大正政変・1913＝63歳：「実業大会開催ニ就テ」刊行し、地方産業振興運動再開を呼びかける。

第一次大戦始1914＝64歳：引き続き、檄を飛ばし、一人住まいして反響を待つもほとんど無く、

民本主義・1916＝66歳：勲三等瑞宝章。三度目のを飛ばす。

ロシア革命・1917＝67歳：欧州視察。

本格政党内閣1918＝68歳：五男死去後、久しぶりに家族と同居。

ベルサイユ条約・1919＝69歳：多年議員の功により旭日中綬章を授与される。全国各地を行脚し啓発。欧州視察。

原敬首相暗殺1921＝71歳：長男が精神病となるなど、不遇のまま、没した。

勲功により男爵を授けられ、勲二等瑞宝章を授与された。